

令和7年度
市民との協働によるまちづくり提案事業
成果報告会・情報交換会



令和8年6月20日(土)
おりなす八女 はちひめホール

カラー版のダウンロードはこちら ▶



成果報告会・情報交換会次第

日時：令和8年6月20日 14:00～
場所：おりなす八女 はちひめホール

1. 開会
2. 主催者あいさつ
3. 成果報告
4. まとめ
5. グループワーク・情報交換会
6. 閉会

令和7年度 市民との協働によるまちづくり提案事業

	団体名	事業名	ページ
①	福岡県立八女農業高等学校	八女農高ウェルビーイング事業 「ホリデーハッピースクール」	3
②	まちづくり団体「あとおし」	ワークショップを通じた まちづくりプロジェクト（第3期）	6
③	郡役所シネマスイッチ	郡役所まつり 八女を楽しく知ろう！ 第3回「コマまわしシロウ」展	9
④	八女が好き8C（やし）！ やめスマ研究所	八女のみんなでつながる文化祭	12
⑤	チームSAKURA	チームSAKURA 八女プロジェクト	14
⑥	八女茶の里 ふるさとオーナー事務局	自然の恵み！ GW・“八女新茶摘み体験へ行ってみよう”	16
⑦	パラダイス開発	笠原楽縁物語	18
⑧	スマイルママ応援団	ハピママつながる・まなぶプロジェクト	20
⑨	まちづくりAI+（プラス）	AIを活用した地域活性化プロジェクト	24
⑩	つながるツリーハウス	森と人をつなぐプロジェクト	
⑪	写真でまちづくり	写真で彩るまちづくりプロジェクト	27
⑫	こんにちは！YAME	夜詣～百鬼夜行の宴～	29
⑬	Joy-Joyo	上陽町から八女の自然と文化をまるっと 楽しむ	32
⑭	八女が好き8C（やし）！ やめスマ研究所	高大連携アントレプレナーシッププログラム 「スプラウト in 八女」	34
⑮	一般社団法人 八女青年会議所	ふるさと愛PROJECT	36
⑯	一般社団法人 八女青年会議所	つなごう！みんなのOne Heart ～ゴールボールで広がる新しい世界～	40
⑰	ダンスインゲンヤクシヨ （市民DJの会）	ダンスインゲンヤクシヨ（市民DJの会）	42
⑱	八女の道草をつくる （フリースタイルマーケット）	八女の道草をつくる （ゼロ円市/フリースタイルマーケット）	44

令和8年度 市民との協働によるまちづくり提案事業

	団体名	事業名
①	八女茶の里ふるさとオーナー事務局	自然の恵み！ GW・“八女新茶摘み体験へ行ってみよう”
②	つながるツリーハウス	森と人をつなぐプロジェクト
③	スマイルママ応援団	ハピママつながる・まなぶプロジェクト
④	パラダイス開発	笠原楽縁物語
⑤	写真でまちづくり	写真でまちづくりプロジェクト
⑥	こんにちは！YAME	夜詣
⑦	八女が好き 8C（やし）！やめスマ研究所	高大連携アントレプレナーシッププログラム 「スプラウト in 八女」
⑧	八女の自然を楽しみ・守る会	八女の自然を楽しみ・守る会
⑨	懐良親王顕彰会	南北朝の歴史と「征西將軍宮」の 調査研究プロジェクト
⑩	Team Hoshinogawa Cleaners	上陽星野川ごみひろいまつり
⑪	RE:CRAFTED（リクラフテッド）	RE:CRAFTED marche（リクラフテッド マルシェ）
⑫	八女フレグランス・プロジェクト	ふるさと納税を活用した 「八女フレグランス・プロジェクト」
⑬	ほしの里山さんぽ	ほしの里山さんぽ
⑭	NPO 法人がんばりよるよ星野村	広内の棚田 彼岸花植栽
⑮	八女木材協同組合	八女杉で作る椅子づくり体験授業
⑯	一般社団法人 八女青年会議所	未来のヒーローへ、はじめの一步！ チームで挑む、八女っ子アドベンチャーキャンプ
⑰	八女市蓼藍栽培プロジェクト	八女市蓼藍栽培プロジェクト
⑱	八女の楽校	Craft the Future YAME～八女から世界へ、 伝統が生まれ変わる～
⑲	八女市「竹林や茶畑」再生プロジェクト	八女市「竹林や茶畑」再生プロジェクト
⑳	TEDxYAME 実行委員会	八女の未来を創る「アイデア共有文化」醸成事業 ～TEDxYAME プラットフォームの構築～

R7年度 八女市民との協働 によるまちづくり提案事業 八女農高ウェルビーイング事業

農業高校から考える 幸せなまちづくり

<目次>

- 01 活動について
- 02 成果報告・参加者の声
- 03 生徒の感想・展望
- 04 今後の八女について



八女農名物
お茶クッキー

講座① お茶クッキー製造体験



講座② ナシパフェ作り

おいしそう



講座③ 大動物とのふれあい体験

心臓の音が
聞こえる!



講座④ 小動物とのふれあい体験





講座⑤
サツマイモ収穫体験・豚汁試食



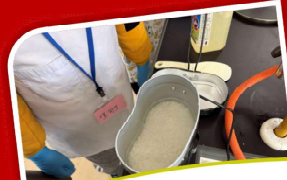
講座⑥
親子で郷土料理作り



おいしい!



講座⑦
寄せ植え体験



講座⑧
親子でカレー作り

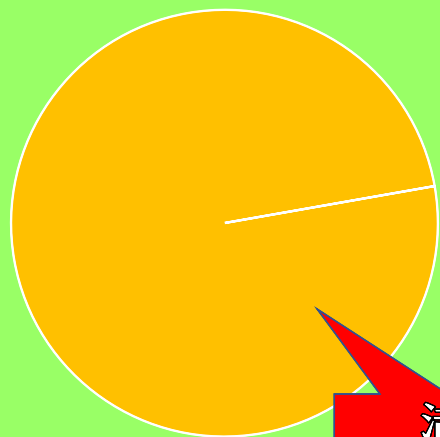


いいにおい



02 成果報告・参加者の声

参加者の体験満足アンケート



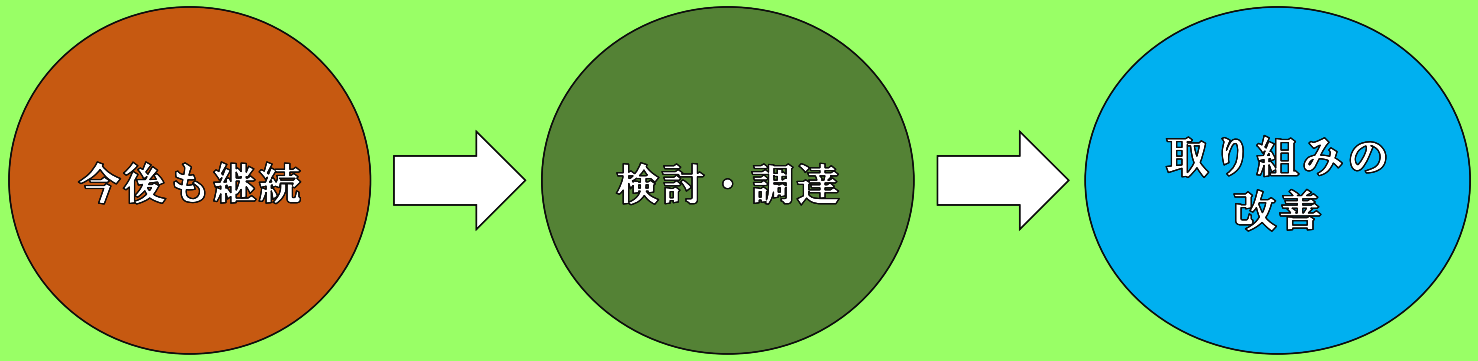
■ 満足

満足
100%

参加者の声

- ・ また参加したい！！
 - ・ 親子三世代で楽しみました。
 - ・ 今後も継続し、農業の大切さを発信、地域一体となって活動して行ってほしい
- Etc.

03 生徒感想・展望



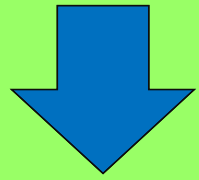
継続するために
資金がいる

継続に伴う資金の会議
資金調達

今後の継続に
あたっての
取り組みの改善

04 今後八女市をどうしていきたいか？

地域の人たちと交流し、多種多様な取り組みで、様々な世代や若者が活躍する
機会をつくりたい！



県を跨いで多くの人とつながり、
縁を結ぶ素敵な
八女市にしていきたい



ワークショップ等を活用した まちづくりプロジェクト

まちづくり団体
あとおし



住んでいる人も、
働く人も、学ぶ人も、
訪れる人も

いろんな立場や世代が、
それぞれの想いで関わることが、
まちの力になる。

小さな一歩や対話の積み重ねが、
未来の景色をつくっていく。



まちは
誰がつくるものでもなく、
みんなでつくるもの。

できることを、
できる人が、できるときに。
その想いがまちの種になる。

まちに関わる一人ひとりの想いや行動が、
少しずつつながり、未来のまちをつくっていく。
主役は、いつだって、わたしたち。

考え、話し合い、
やってみる。
そのくり返しが、
まちを育てる。

私たちはあとおしです

関わることで、
まちへの愛着や
誇りにつながる。

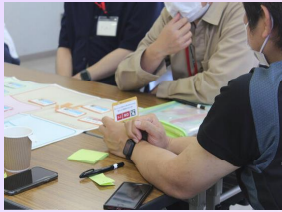
未来のまちは、みんなの今日の関わりの先にある。

一人ひとりの幸せが、
まちの幸せに
つながっていく。

あとおしのあしあと



昨年の報告会では
 つながるワークショップを実施！
 他にも、
 福岡よかごビジネスコンテストや
 ローカルベンチャー支援プロボ
 などにも挑戦しました！



2023年



2024年



2025年



はじめのあしあと

- ローカル・ダイアログ・ワークショップを開催。全6回
- 八女のミライカイギを開催。3名のプレゼンターからアイデアも

ひろがるあしあと

- 豊岡地区地域振興計画策定支援
- 黒木地区ローカルダイアログ
- 空き店舗活用を考えるワーク
- 八女のみんながつながる文化祭に出店
- あとおし全開！ワイワイつながるマルシェ開催
- まちづくり事業提案支援

つながるあしあと

- 黒木地区振興計画策定支援
- 三河校区まちづくり計画支援
- 他団体の想いの言語化ワーク
- まちづくりAI+との協働出展
- 立花小まちづくりワーク
- みさき学園「みさきフェスタ」運営支援、イベント進行支援
- 南仙荘の活用を考えるワーク
- やさしい物語とまちのにこにこまつり支援
- 鹿児島県日置市ビジョンづくり

みらいへのあしあと

八女市2040年ビジョン策定支援

八女の各地域で2040年ビジョンに向けた対話の場をつくります！

3年間のあとおし



心強いたくさんの仲間との出会い

集落支援員、商工会、市役所の方々
地域で活動する団体や個人
他地域でチャレンジする仲間たち

共創によるまちづくり

多様な人がつながり、対話と協力を通じて、誰もが暮らしやすいまちをつくる

地域の声を計画や政策に反映できた！

豊岡、黒木、三河の3地区の地域振興計画の更新をサポート

挑戦する仲間をあとおし

マルシェの運営支援や団体の想いを言語化したりまちづくり事業提案のサポートなど

いろんな人に会いました
 対話の場に参加しました
 誰かのあとおしを出来たらいいなと
 あとおししてたら

あとおしされてた

たくさんの気づきと学びをありがとうございました！

次はあなたのまちで **あとおし** します!



14年後の

2040年 どんなまちになっていたいですか?

あなたの声が、八女の未来の力になります!

八女市 2040年ビジョン 策定メンバー募集

人口減少という深刻な課題を乗り越え、将来にわたり持続可能なまちをつくるために、2040年の「ありたい姿」を市民のみなさんと一緒に描くビジョンを策定します。

2040年ビジョンとは >>> 八女の強みを活かし、人口が減っても心豊かに暮らせるまちの姿

人口減少は全国的に避けられない課題です。八女市では人口減少に抵抗するのではなく、適応することを目指し、人口減少下でも安心して暮らせるまちの姿を、皆さんと共に考え、示していきます。

食 × **職**

八女が誇る高品質な農産物、食の恵みを未来の価値へ
八女を支えるさまざまな技術や次世代の新産業まで、磨ける技術を未来へ

2つの「しよく」をキーワードに、2040年に目指すべきまちの姿(ビジョン)を描きます。

なぜ、今つくるの >>> 2040年ビジョンは、八女の未来を変える大きな役割に

市政運営の羅針盤 福祉行政推進計画に引き合う形の指針となり、将来を見据えた一貫性のある市政運営を実現します。	産業の「将来予見可能性」 長期的な方向性を明確に示すことで、企業が安心して投資や事業展開できる環境をつくり出します。	市民の「共通言語」 一人一人が主体的にまちづくりに参加し、世代を超えて未来を語り合う上での合言葉となります。
--	--	--

市民・行政・産業が同じ方向を向き、力を合わせることで持続可能な心豊かな八女市を実現します。

***活動スケジュール (7月~11月)**
第1回
▶日時: 7/12(日) 14時~17時30分
▶場所: 八女市役所本庁
各地域の課題を尋ねるワークショップを3~4回予定しています。

***応募締切: 6月21日(日)**
二次元コードまたは電話、メールで申し込みください。

2040年ビジョン策定メンバーと一緒に各エリアでまちづくりのための対話の場を作っていきます。皆様のエリアでご参加いただき、まちの未来についてお話ししましょう。詳しくは「あとおし」メンバーまで!

第3回 郡役所まつり 「コマまわしシロウ」展

団体名 郡役所シネマスイッチ

郡役所シネマスイッチ

1. 活動の内容

○目的

八女地方の地域資源であり自然素材から作られる「独楽」「和紙」「櫛ロウ」を、明治30年代に八女郡是が作成された現場でもある旧八女郡役所を会場に、地元の美術作家や工芸作家、生産者らとともに行うアート作品によるインスタレーション・ワークショップ・マルシェをとおして五感で感じ、それについて考える楽しい時間と場を作り出すこと、そしてその素材としての可能性を再評価すること。

郡役所シネマスイッチ

1. 活動の内容

○内容

牛島智子「コマまわしシロウ展 -混色(コマ)-」

…「こま」をテーマにしたインスタレーション展

郡役所マーケット

…普段から旧八女郡役所に関わっていて地域に根ざした活動や制作、販売をしている若い人達を中心に声をかけ加工品、パン、本などの販売やDJイベント。燈籠人形期間中のため多数の来場があった

郡役所シネマスイッチ



郡役所マーケット

コマまわしシロウ展

2. 活動の成果

- こまを使ったインスタレーションによる素材の紹介、作品を媒介にしたコマ体験が思いのほか好評だった
- 参加者が自分たちの活動を来場者に伝えるための場としての郡役所マーケットが定着してきた
- 旧八女郡役所では、本、映画、音楽などの愛好家が集まる小さなグループがあって、郡役所マーケットがその発表会のような位置づけになりつつある

郡役所シネマスイッチ

3. 今後に向けて

【活動をとおしてわかったこと】

継続するために必要なこと(資金面、来場者層)
身体的な体験の面白さ

【今後の活動のビジョン】

郡役所まつりと郡役所マーケットは継続していく予定。
旧八女郡役所で行われている個人レベルの小さな活動を地域内外との関係性を紡ぎながら皆が面白いと思えるような場が展開されるような働きかけをしていきたい

郡役所シネマスイッチ



八女のみんなが つながる文化祭2

ゆる〜〜く



1. 活動の内容

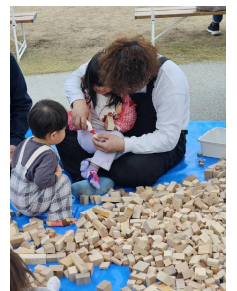
○活動の目的(目標)

八女の魅力の発信 戻りたい!と思える地域
 文化(魅力) 八女のコト・人を知る
 × ×
 新たなつながり 楽しい体験

○活動内容(どういったことをしたか)

- ①体験ブース: 抹茶ラテづくり体験、まが玉づくり体験…
- ②飲食出店: TACOHUSE、アイ縁奇縁(スプラウト八女)…
- ③ステージイベント: Smile Link LABO(バンド)、いわい体操
- ④活動紹介ブース: 八女の楽校…

○活動の様子



2. 活動の成果

○八女の魅力をゆる〜〜く
楽しみながら体験してもらえた



アイ縁奇縁

○参加者同士がゆる〜〜く
つながれた



いわい体操

○”やってみたい”を”やってみる”機会になった



3. 今後に向けて

【活動をとおして分かったこと(課題)】

○イベント当日だけでなく、その後のコミュニケーション・活動へつなげる仕組みづくりが課題

○継続的な運営を行っていく上での資金面・体制面での課題

【今後の活動のビジョン】

○ゆるさの追求

→“やってみたい”を表現できる”ゆる〜〜い”きっかけづくりの追求

→継続的・定期的なコミュニケーション機会づくり



活動名 八女プロジェクト

団体名

犬保護団体 チームSAKURA

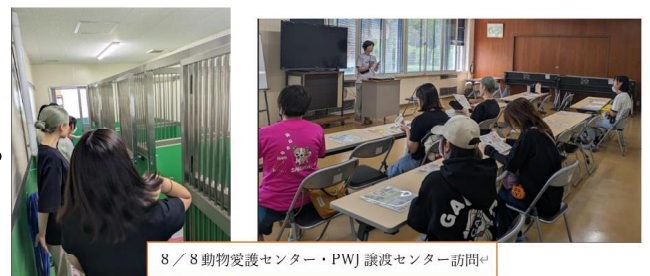
1.活動の内容【チームSAKURA】

○活動の目的

- ・小さな命を大切にできる市民の育成。
- ・動物との共生社会をめざす。

○活動内容

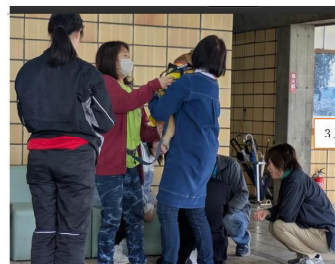
- ・飼育放棄、飼い主が迎えに来なかった保健所収容犬猫の実態を知る研修の企画運営。
- ・教育機関での「命の授業」「ドッグセラピー」を企画運営。



2.活動の成果【チームSAKURA】

○命の授業やを通して、若い世代に動物との共生について啓発をすることができた。また、保健所の役割やそこで働く人の気持ちを共有することができた。

(生徒57名 職員5名)



3/4 (あしかば) ドッグセラピー

○教育支援センターに通う児童生徒に、ドッグセラピーを通して、癒やしの時間を与え、犬の性質について伝えることができた。

(児童生徒17名 職員7名)

○動物愛護センターでの殺処分機見学や講話、保護団体シェルターでのふれ合い活動を行った「命の旅」では、参加者は今後の行動の参考にすることができた。若い世代の意識向上に繋がることができた。

(参加者7名)

3.今後に向けて【チームSAKURA】

課題

●「命の旅」については周知不足で参加者が少なかった。

今後の活動のビジョン

○啓発を続けながら、八女の集客の場所で譲渡会を行う。

自然の恵み！

GW ・ (ゴールデンウィーク)

“八女新茶摘み体験へ行ってみよう”

八女茶の里ふるさとオーナー事務局

(八女茶の里ふるさとオーナー事務局)

1. 活動の内容

○活動の目的(目標)

伝統本玉露栽培を都市住民との交流を通して、里山の自然・生産者の理念等も伝え、八女茶の魅力を深堀し、八女茶の魅力を伝えることを目的とする。

○活動内容(どういったことをしたか)

○ 八女新茶摘み体験

開催日： 令和7年4月29日(火)・5月3日(土)・5月5日(月)

- ① 12:30~13:00 受付(茶娘衣装無料貸し出しは、事前予約が必要)
- ② 13:45~14:05 新茶摘み体験(29日=煎茶・3日=かぶせ茶・5日=伝統本玉露)
- ③ 14:35~15:35 日替わりイベント
(29日=ホットプレートでお茶作り・お茶餅つき・八女茶試飲)
(3日・5日=穂先タケノコ狩り・お茶餅つき・八女茶試飲)
- ④ 15:35~16:00 わかば製茶工場見学
- ⑤ 16:00~ 八女茶に関する質疑応答・解散

○活動の様子



みんなで集合写真



伝統本玉露園で一芯二葉摘みを体験の様子

(八女茶の里ふるさとオーナー事務局)

2. 活動の成果

○緑茶(伝統本玉露)栽培を生産するだけでなく、生産過程・里山の自然・生産者の理念・消費者との交流・ふれあい等を通じて、都市住民との交流・体験活動を行うことで、地域活性化の一助になればと考えている。

○昨年度は、福岡県観光広報誌『クロスロードふくおか』『旅の特集』の中で“八女茶の魅力を発見お茶摘み体験で日本の文化に触れる旅”に掲載され、多くの方が、八女茶の里・八女新茶摘み体験にご参加いただき、一部の方は茶園オーナーになって、リピーターとして応援いただくなど、成果をあげてる。



わかば製茶工場見学



摘んだ茶葉を入れて餅つき
(八女茶の里ふるさとオーナー事務局)

3. 今後に向けて

【活動をとおして分かったこと(課題)】

○参加者から、八女茶の生産されているところを見たい。生産者の話を直接聞きたい。八女茶のことをもっと知りたい。など多くの意見が聞かれた。

【今後の活動のビジョン】

○八女茶の生産の背景にあるもの(八女茶の歴史・八女の里山の四季・生産者の思い)を含めて情報発信していきたいと考えている。

○八女新茶摘み体験の希望者は年々増えてきていますが、どうお迎えするか今後の課題であると捉えている。



茶摘み体験はいポーズ！



自分でついた餅は、最高に美味しい。
(八女茶の里ふるさとオーナー事務局)

笠原楽縁物語

パラダイス開発

1. 活動の内容

○活動の目的（目標）
世代をこえて楽しく明るく元気に
交流できる場作り

○活動内容（どういったことをしたか）
交流の場を作るという観点から4つのイベントを開催
小さな花火大会、焼き芋ワークショップ
しめ縄リース作り、竹すみ作り



（パラダイス開発）

2. 活動の成果

笠原在住や八女市在住の有無にかかわらず子供から大人までの交流の空間が生まれた
このイベントがなければここまで来る機会はなかったとの声や自然と触れ合える体験も上がった



子供達も楽しんでいましたが大人の方が普段顔を合わせない人との交流や自然の中での時間を満喫していた印象がある



3. 今後に向けて

【活動をとおして分かったこと（課題）】
まだまだ笠原地区を知らない人への呼びかけ不足
他団体との連携に力を入れたい
（笠原子供会、青少年育成会）
地域同士のコミュニケーション不足

【今後の活動のビジョン】
自然を利用した催し物、多世代交流ができる催事
Face to face を大事に笠原を盛り上げて行きたい



(パラダイス開発)



ハピママつながる・まなぶプロジェクト



私たちの目的

子育て世代が安心して学び、交流できる場を提供し、地域の活性化と相互支援を促進することです。学びや交流を通じた地域リーダーの育成やボランティア活動の促進を目指し、持続可能なコミュニティの形成を目指します。



活動内容

01 座談会



花育や絵本育児等、子育てに関連するテーマを決め、育児の情報共有を行える場

02 親子で花育



季節の生花と図画工作を取り入れた、子どもがパパやママと取り組むワークショップ

03 じぶん時間



勉強や読書など、ママのじぶん時間の提供し、一人で頑張るのではなく、一緒に学ぶ仲間づくりができる場



スマイルママ
応援団

活動成果

- ・ 座談会 4回
- ・ 花育WS 9回
- ・ じぶん時間 7回 延べ 大人108名 子ども128名
- ・ 上映会&マルシェ 1回 上映会 いっぱい



スマイルママ
応援団

1年を通して

- ・育児に自分のことを頑張るママの居場所をつくり、なにかに挑戦したい、また頑張ろうを応援できた。
- ・参加者からメンバーに5名仲間入りした。
- ・たくさんの笑顔もらった。



今後に向けて

【課題】

- ・新規参加者の集客
- ・知名度アップ
- ・イベントの有料化



ビジョン

- ・つながりを大切にしていく
- ・次世代にバトンを渡せる団体になる
- ・笑顔をいっぱいにする
- ・子育て世代から元気なまちにする

